

深まり行く秋

成川溪谷に紅葉の季節が到来し、溪谷沿いが赤や黄色の鮮やかな色で染められています。遊歩道を散策すると、溪流のせせらぎを聞きながら紅葉を楽しむことができます。



(蛇王滝)



コスモス路

このコスモス畑は、農地や水路などの農業施設や周辺環境の保全に地域ぐるみで取り組むために今年度から始まった「農村環境保全国上活動支援事業」の一環として、久保集落で整備されたものです。三島地区では、この他に下大野や清詰集落でも行われました。



鬼北町では、30以上の集落で取り組まれているので、これからも、町内のあちこちでこういった風景が見られることでしょう。



(久保地区のコスモス畑)



ゆずの里

鬼北町の特産品の一つであるゆずの収穫が最盛期を迎えています。写真は上鍵山のゆず畑です。生産者の愛情がたっぷりと込められたゆずは、ポン酢や醤油などに加工して全国各地へと出荷され、爽やかな香りと深い味わいが鬼北の味として親しまれています。

(写真／柳野治示氏)

鬼北の風景「二宮金次郎像」から

広報きほく11月号で掲載した二宮金次郎像についての素敵なエピソードが、鬼北町ホームページの掲示板に投稿されていたのでご紹介します。

またまた大感激です。
小倉コミュニティに有る、二宮金次郎像です。
右手の親指？が折れていると思います。
今から48年前？、小倉小学校と言われていた頃（250人程居た頃）
昼休みだったと思いますが2歳年上のK Yさんが蹴ったボールが当たって折れたのです。泣き出して先生に報告しましたが、「よく言って来だね」と言って彼の頭を撫でて「もう泣くな」と言われた事を今でも鮮明に覚えています。いつまでも大事にして保全を切にお願い致します。（鬼北町出身者さん）

過ちを素直に認め、正直に伝えることの素晴らしさを教えられるお話です。少年の行動もさることながら、先生の優しい対応も心温まるものです。今の子どもたちにも是非お手本にしてもらいたいと思います。

投稿していただいた鬼北町出身者さんにこの場をお借りしてお礼申し上げます。二宮金次郎像とともに「親指の欠けた二宮金次郎像の話」も後世へ伝えていければと思います。ありがとうございました。



▲親指の欠けた二宮金次郎像